

「森と水と命の惑星」国際会議

～地域と世界の心と魂を詠む～



塾長 梅内 拓生

(世界秩序)
 第一次世界大戦の勃発から100年、第二次世界大戦の勃発から73年、世界の政治秩序は揺れ動いている。超大国であった米国の力が少しずつ衰え始めており、新興国の大国として力を伸ばしてきた中国もいろいろな問題を抱え、その力にプレッシャーがかかっている。これにロシア、フランス、イギリスなど第二次世界大戦の戦勝国の力も陰りが見えてきている。

第二次世界大戦で三国同盟を結んだ日本、ドイツ、イタリアには敗戦国のくびきが依然として残っているが、

日本とドイツは世界の経済をけん引している強力なメンバーであることは事実である。3月14日の産経新聞に柔道と異文化交流の記事が掲載されている。盛岡南部藩出身の国連次長として明治の時代に世界のかけ橋を務めた新渡戸稲造博士が紹介した武士道とキリスト教文化との共通点が話題になったという記事である。

一般的に、西欧のキリスト教文化は攻めに、日本の武道文化は受けに妙味があるときれている。東京大学名誉教授・清水博の柳生新陰流の敵の攻撃を受けて返す世界を科学

の世界の「場の理論」の立場からの説明は、異文化交流の妙を創造することつながってくる。柳生新陰流の哲理を受け止めて、これを国際政治の場に用いて、世界秩序の創造に役立てることは一考する価値があると思う。

(とべら俳句会 2)

(雪)

伊藤小里
 杉山の 重機の音や
 雪の中

仮設住ま
 降りつもる
 いの 雪払う

雪かきは大仕事です
 ね！

返句
 雪重し 仮設の屋根の
 たわむ音

(茶席ときもの)

熊谷トキ子
 支援物資 仕立直しの
 春裕

ひきしまる 炭の匂ひ
 の 茶室かな

和服を着て茶室に入ると気持ちが引き締まりますね！

返句

春裕 炭火や茶室 ひ
 きしまる

(雪明り)

佐々木潮風
 錠剤を 摘んでかざす
 雪明り

雪かきの 音で目覚める 朝静か

雪明りは夜と朝では気分が違いますね！

返句
 蛩雪や 一人居の夜
 音はなし

(追憶)

長野 好
 三陸の 香りはんわり
 若布和え

われの声 亡母に似てると一月かな

料理の味付けも地声も亡き母に似てきているなあ！

返句
 若布和え 味も地声も

母に似る

(津波)

長野茂子
 海向いて 椿の中の
 山の神

風花や地に届かずのまま消ゆる

神も知らない津波、風花は地に届かずに消えてしまいます。

返句
 津波去り 椿は海と
 神に問う

(民話)

吉田ミチ子
 幼子の ものまね山の
 笑ひけり

浜うらら 神の名をもつ 小舟かな

返句
 民話する 野山も海も
 春うらら

(3・11を語りつなぐ)

ひでひこ 気仙地方
 はいくども津波に襲わ
 れているが、海を恐れ、海と暮らす生活文

化をつくらねばならぬ
 と思うよ
 かつたか 小高い森
 の中にある三十三観音
 巡礼の札所も津波に流
 されたところもあるな
 あ！
 けいいち 天災は忘
 れたころに襲ってくる
 と誰かが言っています
 ね！
 ひでひこ 日本文化
 には忍耐強いところが
 あるが、これは忘れや
 すいことと関係がある
 と思うなあ！
 かつたか 隣の国の
 中国や韓国は恨み辛み
 を忘れないでしつこく
 せまってきますからね
 え！
 けいいち 日本人は
 熱しやすく冷めやすい
 ともいわれております
 ね！
 ひでひこ 3・11の
 大震災をどのように語
 りつなぐか、これが気
 仙地方の大きな挑戦に
 なると思うよ
 けいいち これを世
 界に向けて発信しなけ
 ればいけませんね！